

提案文作成進む

～第3回学習会 活動報告～

2024年10月20日(日)

滋賀県
子ども県議会
事務局発行 / No. 9



子どもたちはいよいよ提案文作成の段階に入りました！活動日には、これまでの議論をもとに意見をまとめ、提案文を書くためにチーム一丸となって取り組む姿が見られました。その様子をお伝えします。

意見をまとめる真剣な姿勢

昨年の事例とアドバイスをもとにスタート

子どもたちは、まず昨年の子ども県議会の様子をうーたんから教えてもらい、提案文作成の流れや具体的なイメージを掴みました。その後、県庁の職員さんから「伝わりやすい文章を書くためのコツ」を教えてもらい、活動の準備が整いました。



各チームでは、これまで話し合ってきた内容を紙にまとめる作業をスタート。前回欠席したメンバーにも意見を聞きながら、サポーターと協力して進める姿がありました。中には、意見が分かれたり、論点がずれてしまう場面もありましたが、付箋を使いながら議論を整理し、みんなで解決に向けて話し合う姿が印象的でした。

フリップや資料作りも進行中

提案文がほぼ完成したチームでは、当日の発表に使うフリップや資料作成にも取り組みました。うーたんや県庁の職員さんのチェックを受けながら、さらにブラッシュアップする姿勢が見られました。



疲れても未来を考え続ける子どもたち

長時間にわたる作業で頭を使い、さすがに疲れた様子の子どもたち。それでも「滋賀県の未来のために、自分たちができることを考えよう」と懸命に取り組む姿が頼もしく感じられました。



次回に向けて

次回はいよいよ提案文の最終調整を行い、完成させます。この活動を通じて成長した子どもたちが、堂々と提案を発表できるよう、引き続き応援をよろしくお願いいたします！

提案文作成を通じた学びと成長

提案文作成には、子どもたちが多くのスキルを身につけるプロセスが詰まっています。

1.意見をまとめる力

複数の意見を整理し、一つの形にまとめる過程で、問題解決力や協調性を学びます。

2.コミュニケーション力の向上

他の子どもたちやサポーターと意見を交換しながら、相手の意見を尊重し、自分の意見を伝える力を養います。

3.主体性と責任感

自分たちの提案が滋賀県の未来に影響を与えるという意識を持つことで、責任感を持って取り組む姿勢が生まれます。